

こんにちは

日本共産党

横浜市議員



みわ智恵美です

ブログ
Twitter
見てくださいみわ智恵美事務所
横浜市港南区上大岡西 1-19-20-301

困ったときは

☎045-844-3635

FAX045-841-8975

mail@miwa-chiemi.jp

水道料金 来年7月から 12%値上げ

来年7月から値上げ示される

横浜市水道局は9月9日に開催された、市会水道・交通常任委員会で、水道料金を来年7月から値上げするとした方針を示しました。

コロナ苦に追い打ち

日本共産党横浜市議団（担当：岩崎ひろし議員）は「コロナ禍で苦しむ市民に追い打ちをかける仕打ちであり、中止すべきだ」と主張しました。

市は、水道施設の老朽化による更新・耐震化の需要が増大し、その費用を賄うには水道料金を値上げするしかないとしています。

値上げ幅は、生活用水に使用されている13ミリ～25ミリの小口径では最大12%増を提案しています。

横浜市の水道料金値上げ試算

【一か月、税抜きの試算】

13ミリ＝1034円→1158円（124円増）
使用量11m³の場合

20ミリ＝1666円→1865円（199円増）
使用量15m³の場合

25ミリ＝1982円→2219円（237円増）
使用量17m³の場合

※市の水道料金収入の67%は市民が使う小口径（25ミリ以下）



大企業に応分負担求め 公費投入を



水道・交通常任委員会
所属の岩崎ひろし議員

党市議団は、施設老朽化は今後も続くため、一度値上げをすれば今後も繰り返されかねないと批判。水道事業とその施設は市民の財産だと指摘し、「大口径を使う企業などは市民の財産を原材料として

使用し、商品価格に転嫁していることから、現在の負担が過大とは言えない」として、大口径使用者に応分の負担を求めるべきだと主張しました。

また、国や市による公費投入がわずか2割にとどまることから、水道事業への財政措置を十分行うよう、国に強く求めるよう要望しました。